

# 鈴鹿工業高等専門学校



風力発電機 (文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」の一環として設置)

## SNCT GUIDE 2010(H22)

### 基本理念

#### 教育理念

- (1) 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- (2) 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- (3) 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- (4) 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

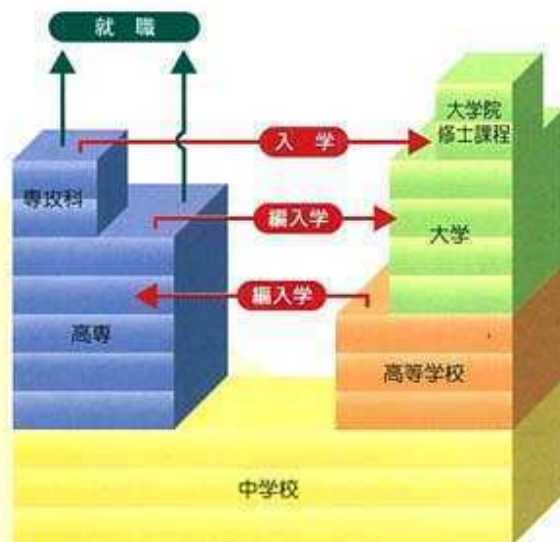
#### 養成すべき人材像

- (1) 生涯にわたり継続的に学修し、広い視野と豊かな人間性をもった人材を養成します。
- (2) 高い専門知識と技術を有し、深い洞察力と実践力を備えた人材を養成します。
- (3) 課題探求能力と問題解決能力を身につけた創造性豊かな人材を養成します。
- (4) コミュニケーション能力に優れ、国際性を備えた人材を養成します。

### 求める入学志願者像

- ・自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・自らの向上をめざして継続的に自己学習ができる人
- ・何事にも積極的に挑戦する意思と意欲のある人

### 高専制度



### アクセス

近鉄名古屋線白子駅下車。白子駅西口から三重交通バス平田町行き・鈴鹿サーキット行きに乗車約10分。東旭が丘3丁目下車。バス停から徒歩10分。



### 校内地図

- 1 管理棟 (総務課・教育研究支援室・教養教育科)
- 2 生物応用化学科・教室
- 3 電気電子工学科・材料工学科
- 4 機械工学科・教室
- 5 電子情報工学科・教室
- 6 専攻科
- 7 材料分析室
- 8 共同研究推進センター
- 9 マルチメディア棟 (学生課・図書館・情報処理センター)
- 10 実習センター
- 11 青峰会館
- 12 第1体育館
- 13 第2体育館
- 14 剣道場 (修道館)
- 15 柔道場 (弘道館)
- 16 弓道場 (志誠館)
- 17 プール
- 18 寮管理部
- 19 寮食堂
- 20 青峰寮A
- 21 第1青峰寮
- 22 第2青峰寮
- 23 第3青峰寮
- 24 第4青峰寮
- 25 野球場
- 26 テニスコート
- 27 陸上競技場
- 28 守衛室



## 専攻科教育

JABEEの認定基準に準拠した複合型生産システム工学分野で技術革新を担うことができる高度で幅広い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力、課題探求・問題解決能力、技術者倫理を含む総合的判断力、英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、技術開発の場で新たな価値を創造する力を育てます。また、修了生は大学卒業と同等の学位（学士）を授与されます。

## 電子機械工学専攻

機械工学、電気電子工学、電子情報工学等の学科出身者を対象として、機械・生産システム、メカトロニクス、計測制御技術、エレクトロニクス、情報技術などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養います。

## 応用物質工学専攻

生物応用化学、材料工学等の学科出身者を対象として、ファインケミストリー、バイオテクノロジー、材料プロセス、環境保全・リサイクル技術、及び機能性新素材などの分野で技術革新を担うことができる高い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養います。



## 世界水準を保証する 技術者教育プログラムの推進

「複合型生産システム工学」教育プログラムは、学科4・5年及び専攻科1・2年の4年間で学習する工学（融合複合・新領域）関連分野の技術者教育プログラムです。高専教育の特徴である早期7年一貫教育により、主となる専門分野（機械、電気・電子・情報、化学・生物、材料）の知識に加えて、中京地区の伝統的特徴である素材から工業製品に至る“ものづくり”に必要な生産システムに関する工学基礎知識、豊富な実験技術、および新たな価値を創り出すことができる能力を身に付けた国際的に活躍できる実践的技術者の育成を目指します。

このプログラムは、平成16年5月に日本技術者教育認定機構（JABEE）から正式認定を受け、技術社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を受けました。

## 学科教育

5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための理論と専門知識、並びに豊富な実験技術を習得させるとともに、応用・展開力と創造性を養います。



## 各学科の特徴

### 機械工学科

機械工学に関する基礎理論と専門知識（材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産）に加え、メカトロニクス・ロボット工学・CAD/CAMなどコンピュータ応用技術に関する幅広い知識も習得します。

### 電気電子工学科

電力・鉄道などのインフラから携帯電話やデジタルカメラなど様々な電気電子製品の設計・生産をはじめ、機械・化学・食品・IT産業などの分野で活躍できる技術者を目指し、電気電子技術・情報通信技術を学びます。また、本学科は第2種電気主任技術者の認定対象学科です。

### 電子情報工学科

電子情報工学に関する理論と知識（電気磁気学、電気回路論、電子回路、計算機アーキテクチャ、プログラム設計、オペレーティングシステム、ソフトウェア工学、情報通信ネットワーク、人工知能等）及びハードウェアとソフトウェアの融合化技術に関する知識を学びます。

### 生物応用化学科

工業化学を学ぶ「応用化学コース」とバイオテクノロジーを学ぶ「生物化学コース」があります。両コース共にファインケミカルズ、合成繊維、医薬、化粧品、環境保全技術などに関する知識や技術を習得するほか、最新の化学理論と生物工学をそれぞれ学びます。

### 材料工学科

材料工学に関する理論と知識（材料の物理と化学、材料の構造・物性・機能、製造プロセス、材料設計等）とその基礎の上になった幅広い工学全般に関する理論と知識を学び、21世紀の社会で広く活躍できる技術者を目指します。

海ある 東方  
さし来る 光に  
さし来る 光に  
かがやくよ 若人われら  
かがやくよ 学問の道

～鈴鹿工業高等専門学校 校歌より～

発行 平成22年8月  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
鈴鹿工業高等専門学校  
〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町  
TEL : 059-386-1031 (代表)  
FAX : 059-387-0338  
<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>

## 教育活動等

### 国際交流

学術交流協定を締結しているオハイオ州立大学（アメリカ）、ジョージアン技術大学（カナダ）及び常州信息職業技術学院（中国）と交流を深めています。平成21年度は、オハイオ州立大学への学生派遣、ジョージアン技術大学への語学研修を実施しました。

さらに、マレーシア、モンゴルをはじめ5カ国の留学生を受け入れ、国際交流の進展にも寄与しています。



### 学生の活躍（平成21年度）

- ・高専ロボコン東海北陸地区大会
- ・プログラミングコンテスト
- ・ソーラーカーレース鈴鹿
- ・Hondaエコノパワー燃費競技鈴鹿大会
- ・全国高専体育大会
- ・天皇杯日本学生陸上競技対校選手権大会
- ・全国高専将棋大会

- 特別賞
- 優秀賞（課題部門）
- チャレンジクラス7位
- 準優勝（高専・専門学校クラス）
- 優勝（陸上、テニス、バスケット、柔道、剣道、水泳）
- 準優勝（男子走り高跳び）
- 優勝（団体戦）



### 学生数（平成22年4月1日現在）

学 科	定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
機械工学科	40	42	45	49	43	44	223
電気電子工学科	40	42	44	42	47	44	219
電子情報工学科	40	42	43	43	46	37	211
生物応用化学科	40	41	45	45	41	45	217
材料工学科	40	41	44	47	44	40	216
合 計	200	208	221	226	221	210	1,086

専攻科	定員	1年	2年	計
電子機械工学専攻	12	22	21	43
応用物質工学専攻	8	7	8	15
合 計	20	29	29	58

### 卒業後の主な進路（平成21年度）

#### ○進学

学科

- ・本校専攻科 27名
- ・大学編入学 62名
- 大阪大学、岐阜大学、京都工芸繊維大学、筑波大学、東京工業大学、東京農工大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、新潟大学、三重大学、横浜国立大学、立命館大学 他

#### 専攻科

- ・大学院入学 13名
- 大阪府立大学大学院、筑波大学大学院、東京工業大学大学院、豊橋技術科学大学大学院、名古屋大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学 他

#### ○就職

学科 88名

- アイシン精機(株)、旭化成(株)、AGF鈴鹿(株)、NTTコムウェア東海(株)、(株)NTTドコモ、大阪ガス(株)、関西電力(株)、協和発酵ケミカル(株)、新日本製鐵(株)、中部電力(株)、中川製作所、パナソニック電工(株)、三菱重工業(株)、ヤマザキマザック(株)、ロート製薬(株) 他

専攻科 10名

- (株)カネカ、国土交通省、コスモ石油(株)、サントリープロダクツ(株)、中外製薬工業(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)森精機製作所 他

## 沿革

- 昭和37年4月1日 鈴鹿工業高等専門学校の設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科で発足）
- 昭和41年4月1日 金属工学科設置
- 昭和61年4月1日 金属工学科を材料工学科に改組
- 平成元年4月1日 電子情報工学科設置
- 平成2年6月5日 オハイオ州立大学工学部と学術交流協定締結
- 平成3年10月9日 カナダ・ジョージアン技術大学と学術文化交流協定締結
- 平成5年4月1日 専攻科（電子機械工学専攻、応用物質工学専攻）設置
- 平成9年4月1日 工業化学科を生物応用化学科に改組、生物化学及び応用化学の2コース制を開設
- 平成14年4月1日 共同研究推進センター発足
- 平成15年4月1日 電気工学科を電気電子工学科に名称変更
- 平成16年4月1日 国（文部科学省）から独立行政法人国立高等専門学校機構へ移管
- 平成16年5月10日 技術者教育プログラム「複合型生産システム工学」がJABEEから認定
- 平成18年3月20日 高等専門学校評価基準を大学評価・学位授与機構から認証
- 平成18年4月18日 中国・常州信息職業技術学院と学術文化交流協定締結

## 施設紹介

### 図書館

所蔵図書は約10万冊あり、専門図書に限らず一般図書も多数所蔵しています。

また、一般の万々に生涯学習の場として開放しています。

開館日 平日 9時～22時  
土曜日 9時～17時

休館日 日曜、祝日

（学生イベント、夏季休業期間等で休館日、時間の変更等がありますので、ホームページか、電話で確認してください。）

<連絡先>図書館 Tel: 059-368-1733



### 学生寮

校内に4棟からなる学生寮があり、430名程度の学生を収容することができます。各居室には有線LAN等が整備され、寮生は恵



まれた環境の中で勉学に励み、快適な共同生活を送っています。学生寮は、友愛、協力、自立の精神を培い、技術者として必要な資質を養うための教育施設でもあります。そのために、毎日、教員が当直寮監として指導にあたり、規律ある生活ができるよう配慮されています。

### その他の施設

- ◆情報処理センター ◆実習センター ◆共同研究推進センター
- ◆青峰会館（学生食堂他） 他

○敷地面積 120,551平方メートル

○建物延面積 39,393平方メートル



# 目 標

## 1. 教育に関する目標

### 【学科教育】

5年一貫の教養教育及び実践の工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための基礎的な知識と技術及び生涯にわたり学習する力を育てます。

### 【専攻科教育】

より高度で幅広い専門知識や創造力、判断力を身に付け、科学技術の分野で国際的に活躍できる実践的技術者を育てます。

## 2. 研究に関する目標

教育内容を学術の進展に即応させるため、継続して研究を行います。そのために必要な学術的研究のみならず先進的な研究、学科間を越えた複合・融合領域研究、産学官連携による共同研究・受託研究も推進します。これらの研究成果を発表や知的財産化等で広く社会に提供し、人材育成および地域・産業界に貢献します。

## 3. 社会との連携や国際交流に関する目標

地域交流・地域連携・産学官連携等を通じて本校の教育研究の成果を社会に還元し、その連携協力を努めます。また、地域の生涯学習機関としての役割を果たします。

さらには、外国の高等教育機関との協定に基づく学生の国際交流を継続発展させ、国際的な視野と知見を備えた技術者の育成を図るとともに、留学生の受入れを積極的に行います。

## 4. 管理運営に関する目標

校長のリーダーシップの下に、運営会議を中心とした施策立案、審議執行及び評価監査のサイクルを確立するとともに、迅速かつ効率的な運営を図るため、運営会議及び各種委員会の位置付け、機能及び審議・協議事項の明確化を図ります。

また、本校における教育研究等の活動全般について自己点検・評価を行うとともに、広く外部からの意見を取り入れ、開かれた学校運営を行います。

さらには、限られた各種資源を戦略的に配分するため、本校の運営方針に基づき、重点的に資源配分する仕組みを整備するとともに、事務組織の機能、編成等を見直し、事務処理の効率化・簡素化並びに事務職員及び技術職員の資質の向上に努めます。

# 研究活動

■科学研究費補助金（平成22年度）	基盤研究（B）	1件
	基盤研究（C）	5件
	若手研究（B）	8件
■共同研究等（平成21年度）	民間等との共同研究	23件
	受託研究	9件
■奨学金等（平成21年度）		21件
■大学教育改革の支援事業等（平成21年度採択分） 文部科学省	・質の高い大学教育推進プログラム	
	「環境志向・価値創造型エンジニアの育成」	
	・大学等産学官連携自立化促進プログラム	
	「コーディネータ支援型」	
■高専機構	・コミュニケーション能力の育成を重視した実践的英語教育	
	■発明協会	・産業財産権標準テキストの有効活用に関する実験協力校

# 収入・支出（平成21年度）

収 入 【単位：千円】		支 出 【単位：千円】	
運営費交付金	1,445,428	業務費	1,765,018
施設整備費補助金等	278,181	施設整備費	278,181
自己収入	287,545	産学連携等研究費	32,158
産学連携等研究収入	32,441	寄附金事業費	18,782
寄附金収入	17,437	その他補助金	112,372
その他補助金	112,372		
<b>合 計</b>	<b>2,173,404</b>	<b>合 計</b>	<b>2,206,511</b>

# 教職員数（平成22年4月1日現在）

校長	教授	准教授	講師	助教	助手	事務職員	技術職員	計
1	29	31	10	10	0	28	14	123

# 教員一覧

職名	学位	氏名	専門分野	職名	学位	氏名	専門分野
----	----	----	------	----	----	----	------

校長 高橋 誠記

## 教養教育科

教授 修士 小倉 正昭	中国史	准教授 修士 川本 正治	数学教育学
教授 修士 奥 貞二	ギリシャ・西洋学・ギリシャ語	講師 博士 大岡 洋介	代数学 (多環の表現論)
教授 修士 西岡 将美	日本上代文学・国語教育	助教 博士 後原 雅史	組合せ論
准教授 修士 久留原昌宏	日本近代文学	教授 博士 田村陽次郎	生物物理学・生体工学
准教授 修士 石谷 春樹	日本近代文学	教授 博士 土田 和明	生物物理学
教授 博士 安富 真一	整数論	准教授 修士 山崎 賢二	触媒化学
准教授 修士 伊藤 清	リー環論	准教授 博士 仲本 朝基	原子核理論
准教授 博士 堀江 太郎	整数論・保型形式	講師 博士 丹波 之宏	生物物理学

職名	学位	氏名	専門分野	職名	学位	氏名	専門分野
講師 博士 三浦 福子			凝結系物理	准教授 博士 伊藤 明			電子計測
教授 学士 船越 信幸			武道・剣道	准教授 博士 田添 文博			自然言語処理
准教授 学士 船越 一彦			トレーニング理論	准教授 博士 渡美 満隆			情報セキュリティ
助教 修士 森 誠護			水泳・コーチ学	准教授 博士 箕浦 弘人			バーチャリアリティ
教授 学士 中井 洋生			英語学・言語学	講師 修士 平野 武範			情報工学
教授 修士 出口 芳孝			言語学・自然言語処理	講師 博士 青山 俊弘			情報工学・生理工学
特任教授 修士 松林 嘉熙			英文学・地方教育史	助教 博士 森 岡子			環境電磁工学
准教授 修士 林 浩士			英語教育学	助教 博士 浦尾 彰			教育工学
准教授 博士 マイケル E ローソン			社会学				

## 生物応用化学科

教授 博士 杉山 利章	機器分析化学
教授 博士 内藤 幸雄	生物化学・蛋白質工学
教授 博士 生良 初	微生物学・細菌毒素

## 機械工学科

教授 学士 富岡 巧	精密工学	教授 博士 澤田 茜秋	化学工学
教授 博士 井 克己	材料力学・計算力学	教授 博士 長原 滋	有機合成化学
教授 博士 佐藤 豊	機械加工学・材料力学	特任教授 博士 富澤好太郎	理論有機化学・有機光化学
准教授 博士 末次 正寛	破壊力学	准教授 博士 下野 晃	無機材料化学
准教授 博士 近藤 邦和	流体力学	准教授 博士 山本 智代	機能高分子化学・ケラル分析
准教授 博士 民秋 実	機械力学	准教授 博士 高倉 克人	構造有機化学
准教授 博士 藤松 孝裕	熱工学	講師 博士 山口 雅裕	発生生物学・比較内分泌学
准教授 博士 白井 達也	ロボット工学	講師 博士 齋谷 真也	高分子合成化学
講師 博士 白木原香苗	材料強度学・材料信頼性評価	助教 博士 小川亜希子	動物細胞工学・生物化学工学
助教 博士 打田 正樹	制御工学		

## 電気電子工学科

教授 博士 北村 登	半導体工学	教授 博士 井上 芭雄	非鉄金属
教授 博士 花井 孝明	電子線工学	教授 博士 赤内 篤夫	燃料電池・電気化学
教授 博士 近藤 一之	電子回路	教授 博士 江崎 尚和	金属物理・合金設計
教授 博士 大津 孝佳	電磁気学・静電気工学	教授 博士 兼松 秀行	環境福祉材料
准教授 修士 奥田 一雄	電子機器・電子材料工学	教授 博士 小林 達正	金属物理
准教授 博士 川口 雅司	情報処理工学	特任教授 博士 国枝 義彦	セラミックス・複合材料
准教授 博士 辻 琢人	半導体工学	准教授 博士 下古谷博司	有機化学・生化学
特任教授 学士 伊藤 保之	マイクロ波工学	准教授 博士 南部 智彦	金属物理・合金設計
講師 博士 西村 一寛	磁性材料・磁気工学	准教授 博士 和田 薫幸	ガラス・ガラスセラミック
講師 博士 柴垣 寛治	プラズマ工学・量子エレクトロニクス	准教授 博士 黒田 大介	加工熱処理学・金属組織学
助教 学士 奥野 正明	電気機器工学	助教 博士 万谷 義和	金属組織学

## 電子情報工学科

教授 博士 井瀬 潔	電子工学	助教 博士 フアルジャミ サハ	鉄鋼材料・金属組織学
教授 博士 桑原 裕史	電子計測		
准教授 修士 長嶋 孝好	情報工学		

# 地域貢献・地域開放事業

## ○小・中学生向け公開講座

- ・機械工学のひとこま
- ・やさしいエレクトロニクス教室
- ・乗り物のコンピュータ制御の～い・ろ・は～
- ・身のまわりのおもしろ化学実験
- ・材料科学の夏の祭典・キャンパスエコツアー
- ・環境とクリーンエネルギーを学ぼう

## ○小学校への出前授業

鈴鹿市等の教育委員会と連携して実施しています。授業を受けた小学生からは理科が好きになったなどの声が多く聞かれます。

## ○技術相談

地域貢献の一環で技術相談を実施しています。技術相談から共同研究を実施したケースもありますので、お気軽にご連絡ください。

<連絡先>総務課地域連携係 Tel：059-368-1717